

### 3. 用語解説

#### 【アドミッション・ポリシー】

受験生に求める能力、適性等についての考え方や入学者選抜の基本方針。

#### 【インターンシップ】

学生が在学中に、企業等において、自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。

#### 【OPAC】

利用者が図書館の所蔵資料を検索するために用いるコンピュータ化された目録。オンライン閲覧目録。利用者が直接端末機からオンラインで図書館のコンピュータと接続し、蔵書データベースを検索可能。Online Public Access Catalog の略。

#### 【オフィスアワー】

授業内容等に関する学生の質問等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯。

#### 【外部評価／第三者評価】

外部評価は、学校の教育活動等について、学校側が選定する学外者から評価を受けること。一方、第三者評価は、第三者的立場にある評価機関等が実施する評価のこと。

#### 【キャップ（CAP）制】

学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するよう、1年間又は1学期に履修登録できる単位数に上限を設ける制度。

#### 【CALL】

コンピュータ支援言語学習のこと。オーディオ、ビデオ、コンピュータなどの機器を使って外国語を学ぶシステムに、PCネットワークを利用して外国語を学ぶシステムを組合せた学習方法が可能。Computer-Assisted Language Learning の略。

#### 【サバティカル制度】

教員が異なる機関等において教育研究を行うなどのために、一定期間、休暇をとることができる制度。

#### 【GPA制度】

授業科目ごとの成績評価に対して、GP（グレードポイント）を付し（例えば、5段階（A、B、C、D、E）の成績評価に対して、それぞれ4、3、2、1、0のGP）、この単位当たりの平均を出し、その一定水準を卒業などの要件とする制度。GPAは、Grade Point Average の略。

#### 【スタッフ・ディベロップメント（SD）】

事務職員や技術職員等を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質を向上させるための組織的な取組の総称。SDと略して称されることもある。

**【セメスター制】**

1つの授業を1年間通じて実施する通年制の前期・後期等とは異なり、1つの授業を学期（セメスター）ごとに完結する制度。

**【戦略的大学連携支援事業】**

国公立大学等間の積極的な連携を推進し、各大学等における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、個性・特色の明確化、大学運営基盤の強化等を図ることを目的とする支援事業。

**【中期目標】**

公立大学法人が6年間で達成すべき業務運営に関する目標。設立地方公共団体の長は、当該公立大学法人に指示するとともに公表している。

**【中期計画】**

公立大学法人が、設立地方公共団体の長が指示する中期目標を達成するために作成する計画。中期計画の作成又は変更にあたっては、設立地方公共団体の長の認可を受けなければならない。

**【チューター制度】**

主として、外国人留学生に対し、日本人学生が日本語の指導、学習や生活上の様々な支援を行う制度。

**【長期履修学生制度】**

職業を有している等の個人の事情に応じて、短期大学の定めるところにより、学生が短期大学の修業年限を超えた一定期間にわたって計画的に教育課程を履修し卒業することを認められる制度。平成14(2002)年度から実施。

**【特色GP】**

国公立大学等を通じた競争的環境の下で、特色・個性ある優れた取組を公募により選定し、支援を行う文部科学省の事業。

**【TOEIC】**

アメリカのETSが開発した英語によるコミュニケーション能力を測定するためのテスト。TOEICは、Test of English for International Communication の略。

**【ファカルティ・ディベロップメント（FD）】**

教員が授業内容・方法を改善し、教育力を向上させるための組織的な取組の総称。FDと略して称されることもある。その意味するところは極めて広範にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。